

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成21年 3月

(平成21年 2月末調査)

平成21年3月17日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266 (23) 4567

FAX 0266 (23) 8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率【1月】	諏訪公共職業安定所管内	0.71倍	△0.57ポイント
手形交換高【2月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	9,399枚	△1,010枚
	金 額	10,990百万円	△1,885百万円
	うち不渡り	27枚	+27枚
	発生状況	3,947千円	+3,947千円
電力使用量【2月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	72,465 MWh	△11.0%
	高圧電力計	97,138 MWh	△19.3%
	合 計	169,603 MWh	△16.0%
車庫証明取扱件数【2月】(諏訪地方合計)		914件	△17.9%
新設住宅着工件数【20年4月～21年1月】(諏訪管内)		1,289戸	△5.4%

□本文は、当金庫の取引先約120社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

●製造業

自動車関連の下請企業の受注は、国内・海外のメーカーの減産の影響から前年同月比では大幅に減少しているものの、3月を底に受注は幾分回復するとみる企業もきかれる。工作機械・専用機は、国内・海外で設備投資が冷え込んでいる影響から、直近の生産は急減しており受注残も大きく減少している。デジタルカメラ関連の下請企業の受注は、親会社により区々であるが総体では大幅に減少している。金属製品加工の受注も医療機器向けで堅調とする企業が一部あるものの、総体では減少している。

地域製造業の業況は引き続き減速しているものの、少数ではあるが一部の企業からは3月・4月には親企業の在庫調整が終了し、直近の受注状況からは幾分回復を見込んでいるとの声がきかれ始めた。

●商業

諏訪地方の2月の天候は、強い寒気の南下はなく気温は平年に比べて高くなった。衣料は消費者の買い控え傾向から春物衣料の出足は鈍く、食料品も買上点数の減少などから客単価は低下している。また、新入学関連でも学習機の動きは以前より弱まっており、スーツ等も売れ筋は低価格化している。諏訪・岡谷を合わせた2月の車庫証明件数(軽自動車除く)は914台で前年同月比△199台(△17.9%)の減少、軽自動車の販売台数は335台で前年同月比△70台(△17.3%)の減少となった。

商業各店舗からは、「定額給付金」や市町村が実施する「プレミアム付き商品券」による消費刺激策に期待する声が多い。

●観光業

2月のスキー場への入込み客数は、暖冬により降雪が少なかったことなどから前年比△20%程度の減少の様相である。また、各観光地の宿泊客数は団体客の減少から前年比△10～△20%程度の減少となっている。なお、ビジネスホテルからは出張の減少により、常連客の宿泊が減っているとの声が多くきかれる。

これにより、各施設では3月下旬から実施される「ETC 休日割引」や「定額給付金」、4・5月の「善光寺御開帳」による集客策を企画している。

●建設業

市町村の2月の発注工事は、建築工事13件163百万円、土木工事・下水道工事51件138百万円、その他工事9件42百万円の合計73件344百万円で、前年同月比では+35件、+154百万円の増加となった。県関係の2月の公共工事（地元業者受注分）は、39件1,705百万円で、平成20年4月～平成21年2月の累計契約は220件6,585百万円と前年同期累計比では+12件、△487百万円（前年比△6.9%）の減少となった。長野県の緊急経済対策による平成21年度工事の前倒し発注により、前年同期累計比は1月の66.6%から2月には93.1%にまで上昇した。

民間工事は、諏訪地方の1月の新設住宅着工件数は40戸で前年同月比では△98戸（△71.0%）の減少となった。昨年1月は、改正建築基準法の影響により遅れていた工事が動き出したことから着工件数が138戸と多かったものの、一昨年の着工件数71戸に比べても今年の着工件数は大幅に減少している。

●雇用

諏訪地域の1月の有効求人倍率は、前年同月を△0.57ポイント下回り0.71倍と対前年比で16ヶ月連続して低下している。なお、長野県の同倍率は0.61倍で全国平均の0.67倍を下回った。

また、諏訪地域の1月の新規求人（全数）は1,195人で前年同月比△260人（△17.9%）の減少、新規求職者数は1,354人で前年同月比+577人（+74.3%）の増加となっている。

新規求人数は、地域の主力産業である製造業全体で123名と対前年同月比△224人（△64.6%）と大幅な減少となっている。

また、1件10人以上の人員整理は4件242人、事業主都合による雇用保険資格喪失者は451人と前年同月より402人増加している。なお、製造業において週休3日制やライン毎の連続休暇を行っている企業が多く、「中小企業緊急雇用安定助成金」の受給が増えている。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	デジタル家電向けなどで受注は大幅に減少しており、前年同月比の売上高も大きく減少している。
コンデンサー	受注は減少している。
プリンター	OA需要の低迷等から、生産は減速している。
コンダクター・リレー	受注状況は堅調である。

2. 輸送用機械

自動車	国内・海外のメーカーの減産の影響から前年同月比の受注は大幅に減少しているものの、3月を底に受注は緩やかに増加するとみる企業も多い。
ピストンリング・シリンダーライナー	メーカーの在庫調整等から、下請企業の受注は大幅に減少している。
船外機	欧米・新興国ともに需要が減少しており、生産は落ち込んでいる。

3. 一般機械

工作機械・専用機	国内・海外で設備投資が冷え込んでいる影響から、直近の生産は急減しており受注残も大きく減少している。
搬送用機械	食品関連向けは堅調に推移している。
金型	新規受注は低調に推移している。
ダイカスト	自動車向けの生産は減少しているが、ガス器具は堅調な推移である。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルカメラの1月の生産台数は370万台で前月比△29.5%減少、前年同月比△31.6%減少となっている。1月の出荷台数は国内出荷48万台、海外出荷341万台で、出荷台数全体では前月比△34.7%減少、前年同月比△33.6%減少となっている。 地域の下請企業の受注は、大幅に減少している。
プロジェクター	海外生産が中心であり、国内の部品加工は減少している。教育機関や官庁向けの品種が安定している。
レンズ	親会社の生産計画の見直し等により受注は減少している。

5. 織 維

ニット

生産は春物から初夏物となっているが、小売段階での春物の動きは低調である。

6. 食 品

寒天

今期の製造は適度な冷え込みと降雪が少なく順調であった。総体の荷動きは弱含んでいるが、地元での消費は伸びている。

味噌

業務用需要の減少がきかれるが、家庭用需要は堅調である。

7. 製 材

諏訪地方の1月の木造住宅着工件数は36戸で、前年同月に比べ△34戸減少した。木材の動きは低調である。

8. 建 設

公共工事

2月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、発注機関別に諏訪建設事務所29件、林道治山工事関係2件、農地整備課4件、その他4件の合計39件、契約金額1,705百万円となっている。平成20年4月～平成21年2月の累計契約は220件6,585百万円で前年同期累計比では+12件、△487百万円（前年比△6.9%）の減少となった。長野県の緊急経済対策による平成21年度工事の前倒し発注により、前年同期累計比は1月の66.6%から2月には93.1%にまで上昇した。

市町村の2月の発注工事は、建築工事13件163百万円、土木工事・下水道工事51件138百万円、その他工事9件42百万円の合計73件344百万円で、前年同月比では+35件、+154百万円の増加となった。

民間工事

諏訪地方の1月の新設住宅着工件数は40戸で前年同月比では△98戸（△71.0%）の減少となった。昨年1月は、改正建築基準法の影響により遅れていた工事が動き出したことから着工件数が138戸と多かったものの、一昨年の着工件数71戸に比べても今年の着工件数は大幅に減少している。利用関係別では、「持家」34戸、「貸家」5戸、「分譲」1戸で、昨年と比べ「持家」が大幅に減少している。

景況の悪化から、企業の設備投資及び個人住宅ともに慎重な姿勢がきかれる。

9. 商業

諏訪地方の2月の天候は、強い寒気の南下はなく気温は平年に比べて高くなった。衣料は消費者の買い控え傾向から春物衣料の出足は鈍く、食料品も買上点数の減少などから客単価は低下している。また、新入学関連でも学習機の動きは以前より弱まっており、スーツ等も売れ筋は低価格化している。

商業各店舗からは、「定額給付金」や市町村が実施する「プレミアム付き商品券」による消費刺激策に期待する声が多い。

衣料	気温は暖かかったものの春物衣料の出足は鈍く、消費者の買い控え傾向から衣料全体の売上高は前年を大きく下回っている模様。新入学関連のスーツ等の売れ筋は低価格化している。
食料品	暖かい日が続いたため鍋物食材の動きは鈍かったが、例年になくアイスクリームやフルーツ類が好調であったとする店舗がきかれる。引き続き、買上点数の減少により客単価は低下している。
家電製品	新生活用品やウルトラモバイルPCに動きがみられる。
自動車	諏訪・岡谷を合わせた2月の車庫証明件数（軽自動車除く）は914台で前年同月比△199台（△17.9%）の減少となった。また、軽自動車の販売台数は335台で前年同月比△70台（△17.3%）の減少となった。
ホームセンター	生活関連商品の動きは堅調であり、園芸資材も動き出した。

10. 観光

2月のスキー場への入込み客数は、暖冬により降雪が少なかったことなどから前年比△20%程度の減少の模様である。また、各観光地の宿泊客数は団体客の減少から前年比△10～△20%程度の減少となっている。なお、ビジネスホテルからは出張の減少により、常連客の宿泊が減っているとの声が多くきかれる。

各施設では、3月下旬から実施される「ETC 休日割引」や「定額給付金」、4・5月の「善光寺御開帳」による集客策を企画している。

上諏訪温泉	宿泊客数はホテル旅館により区々であるが、総体では団体客の減少から前年比△20%程度の減少となった。
蓼科・白樺湖・車山方面	宿泊客数はスキー客の減少などから、前年比△10%程度減少したホテル旅館が多い。
下諏訪温泉	ビジネスユースや日帰り宴会の減少がきかれる。
諏訪大社	上社・下社合わせた2月の参拝客数は28千人で、前年同月比△5千人の減少となった。